

# 番組「すたあと おとをあつめよう」を活用した本時案

川崎市立西有馬小学校 教諭 福山里加

月  
日

## 活動名 おとをあつめよう

活動のねらい 番組を視聴して「音あつめ」の活動に取り組むことを通して、場所によってさまざまな音があることに気付くことができる。

## 本時の展開

時間	主な学習活動	指導上の留意点
5	1. 番組を視聴する。 <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">「おとをあつめよう」</div>	○番組を見ながら「学校や公園ではどんな音がするかな」と興味をもつ子どもがいると予想される。視聴後、子どもの思いを引き出しながら次の展開につなげるようにする。
5	2. 教室で「音あつめ」を行う。 ・「かさかさ」プリントがこすれる音がしたよ。 ・「ぶくぶくぶく」金魚の水槽の音がしたよ。	○まず、教室内で1分程度「音あつめ」を行い、活動方法の確認をするとともに、「他の場所でも音あつめをやってみよう」という気持ちを高める。
15	3. 校庭で「音あつめ」を行う。 ・木の下に行ってみようかな。 ・体育をやっているお兄さん達がいるよ。	○活動時間を事前に示し、必要に応じてワークシートなどを用意し、見つけた音を言葉で記録できるようにする。
15	4. 友達で見つけた音を伝え合って楽しむ。 ・「ぼーん」なんの音でしょう。 ・ボールを蹴っている音かな。	○番組のように見つけた音を画用紙に書いたり、声と動きで表現したりして、クイズを出し合って楽しめるようにする。
5	5. 活動を振り返る。 ・いろんな音があったね。 ・場所によって違う音がするね。 ・僕と同じものを見つけたのに、〇〇さんは音の言い方が違ってたよ。	○「音あつめ」をしてみてどうだったかを投げかけ、おもしろかったことや気付いたことなど、子どもたちの反応を取り上げる。友達と自分、教室と校庭など、見つけた音を比べて気付いたことを共有できるようにする。

### ★番組活用の別案

校内で校庭以外の場所を選択したり、公園など校外へ出かけたときに実施したりすると、音のバリエーションが広がって楽しいでしょう。場所による違いに気づき、さらにその場所への関心も高まります。その際、事前に安全指導を行い、周囲に気をつけて活動できるようにしましょう。

また、紹介した音を使って音遊び（かわりばんこに声を出す「まねっこ遊び」や、何種類かをつなげてお話するように声を出す「呼びかけ遊び」）をしても面白いです。

### 新型コロナウイルス対策で配慮すること

クイズを出し合うときは、必ずマスクをして、子ども同士の間隔に気をつけましょう。  
教室で行う場合は、換気をしましょう。



NHK

Copyright NHK (Japan Broadcasting Corporation). All rights reserved. 許可なく転載することを禁じます。